

○ 質問番号1番 市長公室関係（市長答弁）

議席番号19番 三尻中学校 ^{たかはし}高橋 ^{あかね}茜 議員

「あついぞ！熊谷」への参加について

高橋茜議員さんの『「あついぞ！熊谷」への参加について』にお答えします。昨年、今年と「あついぞ！熊谷」の合言葉のもとに、市民の皆さんの様々な活動が、熊谷の夏を盛り上げてくれました。これは、熊谷の暑さを楽しみながら活動することで住んでよかったと思えるまち、誇りを持って住めるまちにしようという「あついぞ！熊谷」まちづくり事業によるものです。

この事業には、「あついぞ！熊谷」という言葉をつけてイベントや展示を行ったり、暑さに似合う食べ物や商品を開発したりする冠エントリー事業、市外に旅行するときに「あついぞ！熊谷」をPRするTシャツを着て熊谷の観光パンフレットを配布するPR市民キャラバン隊、市民参加で暑さを楽しむイベントの企画などがあります。また、「あついぞ！熊谷」Tシャツも好評のうちに売り切れとなりました。

こうした事業の中には、高橋さん達中学生が参加できる行事もたくさんありますので、まちの各所においてありますパンフレットや市報、また熊谷市のホームページなどをご覧になって是非参加してください。

また、熊谷の夏の新しい名物として取り組んだかき氷の「雪くま」や熊谷オリジナルの激辛スナックなどの夏を楽しむ品々を皆さんで味わったり、どれが美味しいとか、面白いとか話題にしていただけたら、大変ありがたいと考えています。

また、部活動の試合や大会のときなどに「あついぞ！熊谷」Tシャツを着て出かけ、熊谷をPRしていただけたら、本当に素晴らしいことだと思います。もちろん、お友達や地域の方々といっしょに「あついぞ！熊谷」の冠をつけた活動を行っていただくこと、家族旅行のときにPR市民キャラバン隊をしていただくことも大歓迎です。

高橋さんのような若い世代の方が「あついぞ！熊谷」をテーマにした事業に興味を持ち、いろいろな体験を積み重ねていただき、郷土熊谷への愛情を育みながら成長していただくことは、大変素晴らしいことだと思っています。これからも、こうした事業に積極的に参加していただくことを期待しています。

○ 質問番号 2 番 総合政策部関係（市長答弁）

建川蒔議員さん、藤川祐樹議員さん、赤石香子議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。皆さんは、「平成の大合併」という言葉をテレビや新聞で見たことがあると思います。国は、合併を推進するための法律をつくり全国的に市町村合併を進めてきました。その結果、平成 16 年 4 月に 3,190 あった市町村数は、今年 4 月には、1,820 に減少しています。熊谷市も効率的な行政運営により、市民の皆さんへの行政サービスをもっと充実させるために合併をしました。周りを見ても、行田市、秩父市、深谷市などが合併をしています。皆さんが、かつて社会科の授業で教わった東北の地図は、大きく様変わりしています。

合併した市町村は、住民の融和や一体的なまちづくりを行うための計画作りを進めています。現在、熊谷市でも総合振興計画という、将来のまちづくりの方向性を定める計画を、市民と職員が協力し作り始めたところです。この計画は、合併前のそれぞれの地域で育まれてきた歴史・文化・自然など特色ある地域資産(地域の宝物)を生かしたまちづくり計画になるものと考えています。

市内循環ゆうゆうバスは、合併前の昨年 4 月に、当時の妻沼町役場を起点にする新しいルートを設定しました。7 月からは、小島地区と役場を結ぶ送迎バスが運行されましたが、利用客がほとんどなく廃止されたと聞いています。

これからの地方自治体は、国に頼ることなく自立していかなければなりません。よって、建川さんの提案のように未来に向けて都市力を高めるために、熊谷市は大きくなる必要があります。そのためには、藤川さんの質問のように市内各地の特色を活かしたまちづくりが大切になります。また、赤石さんのお話のように生活に密着したサービスを考えていかなければなりません。時代は、どんどん変わっていきます。熊谷の明るい未来のために若い皆さんの英知と行動力を大いに期待しています。

議席番号 8 番 熊谷東中学校 ^{たてかわ} 建川 ^{まき} 蒔 議員

合併の効果について（部長答弁）

建川蒔議員さんの「合併の効果について」にお答えします。昨年 10 月の合併以来、1 年が経過しましたが、合併前から熊谷市、大里町及び妻沼町は、通勤、通学、買い物などの生活圏が共通していること、また、警察や消防の分野でも同じ地域で業務を行っていました。

合併の理由として、社会を支える若い人が減り、支えられるお年寄りが増える少子高齢社会の進行や国に頼らず市町村が自立する地方分権の進展など、世の中も大きく変化しています。こうしたことから、将来にわたり、住民福祉の向上が図れるよう、行政、財政の基礎を強化し、自治の能力向上と充実を目指して合併したところです。

また、来年の 2 月 13 日には、江南町との合併により、埼玉県北部地域において、最初の人口 20 万都市が誕生します。それぞれの地域で培われてきた、歴史、文化や地域の特色をいかにしながら、活力があって、住みやすいまちを目指しています。合併は、大きな行財政改革とも言われ、一番の効果は、スケールメリットにより行政コストを下げながら、市民サービスの向上を図れることです。現在、都道府県が合併する道州制が話題になっていますが、これからは全国各都市との競争も激しくなります。

建川さんの質問のように、熊谷市が大きくなることは、その競争に打ち勝つための有効な手段ともいえます。まずは、江南町との合併により都市の力を高めながら未来を考えていきます。

議席番号28番 妻沼東中学校 ^{ふじかわ ゆうき} 藤川 祐樹 議員

地域の特色を活かしたまちづくり計画について（部長答弁）

藤川祐樹議員さんの、「地域の特色を活かしたまちづくり計画について」にお答えします。熊谷市は、昨年10月に旧熊谷市、大里町、妻沼町が合併して19万5千人のまちとしてスタートしました。

熊谷市には、「うちわ祭り」などの伝統行事をはじめ、歴史、文化、自然など多くの特色ある地域資産があります。それは宝物とも言えます。藤川さんの住む妻沼地域にも、有名な妻沼聖天山、飛行回数日本一のグライダー滑空場、日本の女医第1号の荻野吟子女史など、旧妻沼町2万7千人の皆さんが育ててきた多くの宝物があります。これらは、今度は19万5千人が共有する宝物となりました。旧熊谷市や大里町にも同じように多くの宝物があり、市民全員の宝物となったのです。これこそが、質問の「地域の特色を活かしたまちづくり計画」の基になるものです。

現在、熊谷市では総合振興計画という、将来に向けてのまちづくりの計画を作り始めたところです。市民の皆さんにも大勢参加していただき、その様子は、ホームページで公開して広く関心をもっていただくようにしています。この計画は熊谷のオリジナルなものであり、そのためには地域の宝物をたくさん生かしていくことが一番大切になっています。計画づくりには感性が必要ですし、実現のためには情熱が必要になります。これからも計画作りに関心を持っていただくとともに、熊谷市の明るい未来に向けて、皆さんの新鮮な感性と若い力に大いに期待しています。

議席番号31番 小島中学校 ^{あかいし きょうこ} 赤石 香子 議員

小島地区への「ゆうゆうバス」の乗り入れについて（部長答弁）

赤石香子議員さんの「小島地区への「ゆうゆうバス」の乗り入れについて」にお答えします。ゆうゆうバスは障害者やお年寄りの方々など、いわゆる交通弱者の方の足の確保を目的として運行しています。そのために、熊谷市がバス会社に補助金を出しています。本来バス事業は民間企業が採算を考えて走らせるのが原則であるため、道路運送法という法律ではゆうゆうバスは民間バス路線と競合するルートを設定することができないことになっています。公共福祉のため、市から補助金を受けて、安い料金で運行するゆうゆうバスと民間バスが同じルートを走ると、民間のバスは圧迫され、つぶれることも考えられます。そうすると多くの住民の皆さんが利用している交通網に打撃を与えてしまいます。妻沼地域と熊谷駅を結ぶ国道407号などのルートにゆうゆうバスの路線を設定できないのも、そういう理由からです。

小島地区へのバスは平成17年7月から3ヶ月間、ゆうゆうバスの乗り継ぎ場所としての当時の妻沼町役場へ送迎バスが運行されましたが、利用客がほとんどなく廃止されております。ゆうゆうバスは限られた予算の中で、より多くの交通弱者の方々にご利用いただけるように運行しています。現状では旧妻沼町で判断したのと同様に小島地区への延伸は難しいと考えています。

○ 質問番号3番 市民部関係（市長答弁）

小山愛美議員さん、鈴木優議員さん、大井田有香議員さん、坂本亮議員さんの質問に私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

始めに、小山さんの「熊谷駅近くへの無料駐輪場の設置」につきましては、駅の利用者が、そのまま路上に放置するなど、どこの市でも対策に苦慮しているところです。熊谷市は、熊谷駅に有料であります。駐輪場を確保し、大勢の市民の皆さんにご利用いただいているところです。自転車の利用者には、他の人の迷惑にならないよう、熊谷駅自転車駐車場の利用をお願いしているところです。

また、鈴木さんからありました「地域の美化活動」につきましては、熊谷市を住み良いきれいな街にしていくため、市民の皆さんが自ら取り組んでいる美化活動は非常に大切なことであり、感謝しています。こうした市民皆さんの美化活動を積極的に支援していくとともに、誰もがごみを捨てたりしない、きれいで住み良い熊谷市にしていきたいと考えています。

次に、大井田さん、坂本さんから質問のありました「横断歩道や歩道橋の設置」及び「交通事故対策について」は、熊谷市では色々な交通安全対策に取り組んでいますが、毎年、たくさんの方が交通事故で亡くなったり怪我をしていますので、心を痛めているところです。引き続き、熊谷警察署と連携をしながら安全な道路の整備と交通安全の普及に努めていきたいと考えています。

議席番号3番 富士見中学校 ^{こやま まなみ} 小山 愛美 議員

熊谷駅近くへの無料駐輪場の設置について（部長答弁）

小山愛美議員さんの「熊谷駅近くへの無料駐輪場の設置について」にお答えします。自転車は手軽で便利な乗り物として広く利用され、熊谷駅から電車を利用して通勤、通学している人たちの中にも、駅まで自転車を利用している人がたくさんいます。この人たちが、道路に自転車を置いたままにすると、お年寄りや体の不自由な人にとって危険であり、災害時の避難や緊急車両の交通を妨げることにもなります。このようなことから熊谷市では、誰もが安全に道路を通行できるよう、放置された自転車を撤去しています。

また、熊谷駅に約3300台置ける有料の熊谷駅自転車駐車場を、さらに熊谷駅から少し離れた場所に無料の熊谷駅西自転車駐車場を設置しています。熊谷駅自転車駐車場は、安心して利用していただくために管理人を置くなど、多くの費用がかかりますので有料となっておりますが、1日100円、通学のためであれば月1500円で利用できます。このようなことから、駅の近くに無料の自転車駐車場を新たに設置することは、難しいと考えています。

多くの自転車利用者は、迷惑をかけないように駐車場を利用し、ルールを守っていますので、この次に電車を利用して出かけるときには、熊谷駅自転車駐車場を利用していただきますよう、お友達にお話してください。

議席番号7番 熊谷東中学校 ^{すずき すぐる} 鈴木 優 議員

地域の美化活動について（部長答弁）

鈴木優議員さんの「地域の美化活動について」にお答えします。熊谷市では「住みよいきれいなまちづくり」の取り組みの一つとして、熊谷市コミュニティづくり市民協議会という団体が中心となって、ゴミゼロ運動を実施してい

ます。この運動は、春と秋の年2回、各地域の自治会や会社、そのほかいろいろな団体に参加を呼びかけて行っています。小さな子供からお年寄りまで参加して、道路や公園などに落ちているゴミ拾いをします。自分たちの住んでいる身近なところに、こんなにいっぱいゴミが捨てられているのか、と驚くほどのゴミが集められます。このような活動を通して、一人ひとりが、「ゴミを捨てない」ということを意識することにより、住んでいるまちがきれいになり、大切な自然を守ることに繋がっていくと思われまます。まもなく秋のゴミゼロ運動が始まりますので、鈴木さんも参加してみたいはいかがでしょうか。

議席番号11番 大麻生中学校 ^{おおいだ} ^{ゆか} 大井田 有香 議員

横断歩道や歩道橋の設置について（部長答弁）

大井田有香議員さんの「横断歩道や歩道橋の設置について」お答えします。「横断歩道」や「歩道橋」は、歩行者が道路を安全に横断できるように設置されていますが、設置をしたり、管理するところはそれぞれ異なっています。横断歩道の設置は、地域の要望等に基づいて熊谷警察署が現地をよく調査して、さらに埼玉県警察本部にある公安委員会というところで、必要性を検討し、決定しています。

また、歩道橋は、市の道路は熊谷市、県道は埼玉県、国道は国が、警察と相談して設置しています。歩道橋は、交通量が多く、横断歩道では渡り切れない学校近くの交差点や、特に危険な交差点などに、歩行者が安全に横断でき、交通渋滞にならないよう設置されています。このようなことから、歩道橋のあるところには、「横断歩道」は設置されていません。

熊谷市では、地域から横断歩道の設置要望があった場合には、現地を確認し、熊谷警察署に設置の要望をしてきているところです。これからも、交通事故の無い、安全な熊谷市に努力していきたいと考えています。

議席番号14番 中条中学校 ^{さかもと} ^{りょう} 坂本 亮 議員

交通事故対策について（部長答弁）

坂本亮議員さんの「交通事故対策について」にお答えします。坂本さんから交通事故を減らすために具体的なアイデアをいただきました。自転車専用道を整備することは、自転車交通の安全確保につながるものと思いますが、新たに用地を確保するなど、難しい状況にあります。このようなことから熊谷市では、新しく造る幹線道路は、歩道や車道を広くして、自転車と歩行者の安全が確保できるよう努めています。

また、カーブミラーや道路照明灯は、道路を安全に通行していただくために必要でありますので、毎年、計画的な設置と維持管理をしています。カーブミラーは、見通しが悪くなった交差点等に、地域の皆さんから連絡をいただき設置していますので、坂本さんにも、危険な場所に気づきましたときには、お父さんやお母さんにお話しをしていただき、市役所までお電話を下さるようお願いいたします。

○ 質問番号4番 福祉部関係（市長答弁）

筒井菜穂議員さん、飯塚洋平議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、担当部長からお答えします。

私も、熊子連の球技大会などで筒井さんを始め、ジュニアリーダーの皆さんが、一生懸命、大会運営に取り組んでいる姿を見て、大変たのもしく感じています。もっと、活動の輪を広げていきたいとのことですが、素晴らしい考えだと思います。私は、リーダーの皆さんが仲間づくりを進めていただくとともに、市の行事や地域のボランティア活動などに積極的に参加していただくことによって、熊谷市が、もっと活気ある素敵な街になると思います。ジュニアリーダーが、学校や地域の中でどんな活動ができるか、リーダーの皆さん同士でも、ぜひ話し合ってみてください。

次に、飯塚さんから、高齢者の皆さんを安全に目的地へ、との願いを込めて、思いやりのある意見をいただきました。熊谷市は、周りの市や町に比べて、交通機関の配置は、各方面に行き届いていると思っておりますが、交通の不便な地域には、市内循環バスを走らせて、市民の皆さんにご利用いただいております。また、シルバータクシー等への補助については、より安全な交通手段と思っておりますが、高齢者数も年々増加しますので、費用や効果などについて考えてみたいと思います。

議席番号9番 玉井中学校 筒井 菜穂 議員 熊谷市ジュニアリーダーについて（部長答弁）

筒井菜穂議員さんの「熊谷市ジュニアリーダーについて」にお答えします。熊谷市では、各地域で子ども会活動が盛んに行われていますが、こうした各地域の子供会がひとつにまとまり、熊谷市子ども会育成連絡協議会、通称「熊子連」という団体を作っています。筒井さんが参加しているジュニアリーダー活動は、この熊子連を卒業した中学生、高校生を対象に取り組んでいる事業で、熊子連に確認したところ、現在、中学生250名、高校生11名が各地域で活躍しているとのことでした。

次に「ジュニアリーダーの活動の場を広げていく考えは」とのことですが、今年度は、熊子連以外の行事として、新たにえびす祭りへの参加も予定していると聞いています。このように、ジュニアリーダーの活動範囲も、学校活動への影響も考えながら、少しずつ広がっていくものと思います。熊子連では、現在活動しているジュニアリーダーが、やがては、地域のリーダーとなって、次の世代の子どもたちの指導者となっていくことを期待しています。市では、こうした熊子連の活動をこれからも応援していきたいと考えていますので、筒井さんには、社会奉仕の精神を大切にいただき、未来の子どもたちから信頼されるりっぱなリーダーになっていただきたいと思っております。

議席番号23番 大幡中学校 飯塚 洋平 議員 高齢者にやさしい公共交通機関について（部長答弁）

飯塚洋平議員さんの「高齢者にやさしい公共交通機関について」にお答えします。熊谷市における65歳以上の高齢者は、本年10月1日現在で、36,564人、市全体の人口の18.8%となっており、高齢社会が進む中で、これからますます増加してまいります。このような高齢者の皆さんが、安全に目的

地へ移動できる交通手段を確保することは大きな問題であろうと思います。市では、民間で運行している路線バスのほかに、交通が行き届かない地域に市内循環バスを運行して、高齢者を始め、市民皆さんにご利用いただいています。

また、一部の停留所では、歩道などを利用して待合所や自転車置き場などを設置し、バス利用者の方々に喜ばれています。これからも、一つでも多くの停留所に設置できるよう努力していきたいと思います。

飯塚さんは、よく研究されていると思いましたが、シルバータクシーや乗り合いタクシーの補助につきましては、大きな費用も必要となりますので、これから考えていきたいと思います。なお、一定以上の障害のある方には、年間36枚のタクシー券を交付し、初乗り料金を補助しています。高齢者の皆さんが、安全に、安心して生活していただくために、市では様々な事業を行っていますが、すべての高齢者の方々に目を向けていくことは難しいと思っています。そこで、これからも地域の皆さんと力を合わせ、高齢者が安心して楽しく生活できるよう、支援していきたいと思います。

○ 質問番号5番 環境部関係（市長答弁）

中村祐輔議員さん、小山理愛議員さん、中西祐介議員さん、加藤友希恵議員さんの質問に私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

私は、市長になったとき、まちづくりの考え方の中に、「環境を大切にするまちを創る」ことを市民の皆さんに約束しました。環境の中には、気象や地形などの「自然環境」、資源・エネルギーや地球温暖化などの「地球環境」、大気汚染やごみ問題などの「生活環境」などがあります。熊谷市は、これら様々な環境問題に取り組むため、「環境に関する基本的な計画」・「地球温暖化の対策に関する計画」・「ごみゼロを目指した計画」を作り、その計画に添って様々な事業を行い、快適な環境づくりを推進しています。

中村祐輔議員さんからは、打ち水や吸水性のアスファルトの使用及び休耕田に水を張るなどのアイデアをいただき、小山理愛議員さんからは、路上喫煙マナー条例の制定に至った私の思いを、また、中西祐介議員さんからは、ごみの毎日の収集を、加藤友希恵議員さんからは、ごみの散乱防止とごみの量を少なくする対策など、どれも熊谷市の環境について真剣に考えていただいた質問であり、これらについても、先ほどお話しした計画の中で対策を実施しています。

4人の議員さんからの、質問は、どれをとっても、熊谷市の環境をよくするには、大切なことですので、これからも、これらの問題に積極的に取り組んでいきます。熊谷市の環境は、私たちが「いかに大切にしていくか」「いかに育てていくか」「いかに創っていくか」さらには、「いかにしてよみがえらせるか」ということを考え、行動することにより、将来、すばらしい多くの「豊かな環境」に出会えるまちを創ることが可能となりますので、議員皆様のご協力をお願いします。

議席番号4番 富士見中学校 ^{なかむら}中村 ^{ゆうすけ}祐輔 議員 暑さ対策について（部長答弁）

中村祐輔議員さんの「暑さ対策」にお答えします。熊谷市は、一年を通じて晴天の割合が高く、温暖な気象条件に恵まれています。夏の暑さは格別であり、テレビや新聞等では、暑さの代名詞として、その名を全国に知られているところです。

このことは、都心のエアコンや自動車また、工場などから出される熱、ビルの反射熱、アスファルト舗装等が太陽熱と一緒に、この熱い空気が南から北西に吹く風に乗って、関東北部に運ばれ、とりわけ、熊谷市では猛烈な暑さになるものと言われています。

このようなヒートアイランド現象に伴う、熊谷市の暑さ対策として、一部の商店街では、打ち水を行っている他、鎌倉町通りや、駅西通りでは、路面温度の上昇を抑える、アスファルト舗装に整備しているところです。

さらに、今年から、市の建物の壁をヘチマなどの、つる性植物で覆うことにより、内部の温度を下げる対策も実施してきました。これからも、いろいろ工夫して、全国的に暑い熊谷の夏を快適に過ごせるような方法を検討してゆきます。

議席番号5番 大原中学校 ^{こやま} ^{りえ} 小山 理愛 議員

路上喫煙マナー条例について（部長答弁）

小山理愛議員さんの「路上喫煙マナー条例を制定するに至った経緯と条例に対する市長の思い」にお答えします。富岡市長は、合併後の市長選挙に当り、4つの目標と8つの具体的な政策提言を行いました。その中に、安心なまち、安全なまち、環境を大切にするまちを作ることを目標としています。このようなことから、路上喫煙を行うことが、状況によっては、ヤケドなどの危険、タバコの煙を吸うことによる健康上の悪影響や気持ちの悪さ、衣服の焼け焦げなどの被害等、他の人に危険を及ぼす恐れがあると考え、熊谷市全地域でポイ捨てを禁止し特に人が集まる駅前区域では路上等における喫煙を禁止し、喫煙マナーと吸い殻の捨ててない、美しいまちを創るため約束通り条例を作り10月1日から実施しています。

また、条例に対する思いですが、路上等で歩きながらの喫煙やタバコの火によるヤケドなどの被害を防止して、安全で快適に歩ける清潔な地域作りができると、考えています。なお、この条例をきっかけに、市民の皆さんが、タバコ以外のゴミのポイ捨てについても、マナーを守ってゴミのない美しいまちづくりができたらと思っています。

議席番号10番 玉井中学校 ^{なかにし} ^{ゆうすけ} 中西 祐介 議員

ゴミの収集について（部長答弁）

中西祐介議員さんの「ゴミの収集について」にお答えします。現在、燃えるゴミの収集は、市内を東コース、西コースに分けて、各々週2回の収集を行い、ゴミの量の多い年末には、特別に収集を行っています。

熊谷市では、ゴミを少なくすることやリサイクルを進め、ゴミゼロ社会を目指しています。そのため市民皆さんが、「ゴミを出さない」「ゴミになるようなものを買わない」「ゴミを再利用する」などの工夫をしていただきたいと考えています。

毎日ゴミを収集しているある市の話ですが集積場はいつもゴミだらけで、きれいになったことがないと聞いたことがあります。収集日を増やすことで、いつでもゴミを出せるという考え方になってしまい、ゴミの減量化が図れませんので現在のところ、毎日の収集は考えておりません。是非、ゴミを減らすことにご協力をお願いします。

議席番号25番 大里中学校 ^{かとう} ^{ゆきえ} 加藤 友希恵 議員

ゴミの散乱防止について（部長答弁）

加藤友希恵議員さんの「ゴミの散乱防止について」にお答えします。街角に散らかったゴミは、街を汚すだけでなく、衛生面から見ても、好ましいものではありません。ゴミが散らかる原因としては、道路を通行する人が、食べ物や飲み物の殻を捨てたり、カラスなどがゴミの集積所を荒らして、ゴミを散らかすことなどが考えられます。

ゴミのポイ捨てをなくすことは、ひとりひとりのマナーに頼るところが大きく、なかなか難しい事ですが、看板を立てたり、市報等で呼びかけて、ゴミのない美しい街を作っていきたいと思えます。

また、ゴミの集積所については、自治会ごとに環境美化推進員さんがいて、

地域内のゴミの集積所がきれいに保たれるように、お骨折りいただいています。さらに、カラスなどに集積所のゴミを荒らされないようにするため、熊谷市では集積所用の網を無料で配っています。これは、ゴミにすっぽりかぶせて使うもので、散乱防止の効果があります。

ゴミが散らからないようにすることと併せて、リサイクルなどを通して、ゴミそのものの量を少なくすることも、大事なことです。その方法として、熊谷市では、リサイクル活動に取り組む学校やP T Aなどの団体や、生ごみを肥料に変える機械や容器を買った人に対して補助金を出しています。

美しい街に暮らすことは、誰もが望むことです。ひとりひとりがマナーを守って、ゴミひとつない、美しい街になりますよう、熊谷市としても努力しますので、議員皆さんにもご協力をお願いします。

○ 質問番号6番 産業振興部関係（市長答弁）

上林幹議員さん、近山圭祐議員さん、福島涼介議員さんの質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

熊谷市は、利根川と荒川という二大河川を有し、肥沃な大地と多くの国道や幹線道路、鉄道の結節点として交通の拠点性を持つ、県北の中核都市としての優れた面を活かし、農業産出額では県内第2位、商品販売額では、県内第3位、製造品出荷額では、県内第4位と産業の各分野がバランスよく発展した県内有数の産業都市となっています。

こうした中で、上林さん質問の「人にやさしい商店街」については、身近で魅力ある商店街の再構築は大変重要ですので、熊谷市としては街路整備やバリアフリー化等を進めています。また、国は、少子・高齢社会の到来を踏まえて、街中を歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりの方向を打ち出しましたので、熊谷市としてもよく研究していきたいと考えています。

近山さん質問の「大里地域への大型店の進出」については、確かに近場にいわゆる大型店ができれば便利と感じると思いますが、大里地域も含む熊谷市全体の商業活動ということを考えた場合大きな影響があることから、大里地域の特性を踏まえて、さまざまな角度から検討しなければならないと考えています。

福島さん質問の「活力ある農業」については、お話のとおり、今日、日本全体で農業従事者の高齢化、後継者不足が進み、大きな問題となっています。そこで、熊谷市では、国が打ち出したこれからの農業の担い手育成政策に沿って、集落全体で農業を行う組織作りなど地域農業の構造改革に取り組んでいます。

これからも市民皆さんと力を合わせ、熊谷市の産業をさらに活力のあるものにし、豊かで住みよいまちづくりを進めていきたいと思えます。

議席番号1番 荒川中学校 ^{かみばやし} 上林 ^{つよし} 幹 議員

人にやさしい商店街について（部長答弁）

上林幹議員さんの「人にやさしい商店街について」にお答えします。熊谷市内には、現在約33の商店街があります。昔は、商店街には、肉屋、八百屋、魚屋をはじめとしておもちゃ屋、靴屋、花屋などいろいろな種類の商店が軒を並べていました。休日にでもなると近くの町や村から大勢のお客様が市内の商店街に買い物に来て、ととにもぎやかでした。

しかし、今では、毎日の買い物は近くのスーパーでというのがあたりまえですし、休日などは、車を利用して、郊外の大型店で買い物を楽しむ人が多くなりました。街中の買い物客の減少と、商店の後継者不足とが相まってシャッターを閉めて空き店舗になったり、違う種類の店に変わったり、青空駐車場になってしまうお店が増え、商店街のにぎわいが失われつつあります。

商店街は、街の顔であり、お祭りへの参加協力や地域コミュニティを支えていただく大切な存在ですので熊谷市としても、商店街がにぎわいを再生できるように、街路灯の整備や空き店舗の活用、イベント支援などを行っています。

また、障害者やお年寄りにやさしい、街路の整備や歩道の段差解消ブロックの整備も行っています。これからも人にやさしく、ふれあいのある、安心して買い物ができる商店街を目指し努力していきます。

議席番号26番 大里中学校 ^{ちかやま}近山 ^{けいすけ}圭祐 議員
大里地域への大型店の進出について（部長答弁）

近山圭祐議員さんの「大里地域への大型店の進出について」にお答えします。土地の利用には、それぞれの目的が定められています。合併後の熊谷市全体を眺めてみますと、商業を目的とした地域、工業を目的とした地域、農業を目的とした地域、住宅を目的とした地域などに分けられています。これらを用途地域指定といいます。熊谷市としては、それぞれの地域の特性を活かした計画的な土地の利用を進めています。大里地域は、すばらしい田園風景を有し、多くの農産物に恵まれた豊かな地域であり、これからの熊谷市の農業発展のために大切な地域です。近山さんのお話のように、近くにいわゆる大型店ができれば、近所にお住まいの方々は日々の買い物が楽になるでしょうが、大型店ができますと、熊谷市の商業全体として見ると、大きな影響を及ぼしますので、様々な角度から検討する必要があります。

現在、熊谷市では新たな総合振興計画を策定しているところですが、公募の市民による市民委員会を設置して、委員の方からは、身近な生活実感に基づくいろいろな意見が提出されています。商業についても様々な意見が出されていますので、それらを踏まえて、熊谷市の商業対策について考えていきます。

議席番号30番 妻沼西中学校 ^{ふくしま}福島 ^{りょうすけ}涼介 議員
活力ある農業について（部長答弁）

福島涼介議員さんの「活力ある農業について」にお答えします。熊谷市の田や畑の面積は、5,535ヘクタールで、市全体の面積の約40%を占め、米・麦・野菜・畜産など、多彩な農業が営まれ、優秀な農産物が生産されています。

しかしながら、農業従事者に占める65歳以上の人口が56%と、農業従事者の高齢化が進み、若い後継者なども、年間で数人程度と少なくなりました。

特に、米・麦の生産部門では、この傾向が強く現れています。また、1年以上農作物が作付けされず、これからも作付けされる予定のない「遊休農地」は、60ヘクタールと、全農地の約1%を占め、東京ドームの13個分に当たります。

今後、活力ある農業を取り戻すためには、農業で暮らしていける所得が得られることが必要と考えています。そのため、集落全体で農業を経営することや、規模の大きな農業経営者を育成することで、生産コストを下げるとともに、優秀な農産物をPRし、有利に販売することなど、生産から消費にいたる、幅広い対策を講じていくことが必要であると考えています。

熊谷市では、これらの対策として、農業の担い手育成のため、集落全体で農業を行う集落営農組合の組織化を始め、農業経営のプロである認定農業者や、将来を担う農業後継者の育成事業を行うとともに、農産物のブランド化や、市内で生産される農産物の消費拡大を進める、地産地消運動を進めています。これからも、活力ある農業を目指します。

○ 質問番号7番 都市整備部関係（市長答弁）

北田愛理議員さん、田野準之助議員さん、江守小夜子議員さんの、公園の施設や緑に関する質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは担当部長からお答えします。

公園は、子どもからお年寄りまで、多く市民の皆様に、スポーツ、レクリエーションや遊びの場として利用されています。

また、緑は、環境を守ったり、災害を防止したりという役割も担っています。特に、公園や道路等に木を植えることは、美しい都市を創る基本であると考えています。熊谷市を代表する公園としては、「国の武蔵丘陵森林公園」国体のメイン会場となった「県の熊谷スポーツ文化公園」また、市の「熊谷運動公園」「別府沼公園」「妻沼運動公園」「桜りバーサイドパーク」などがあります。

また、この他にも、皆さんの家の近くにも、大小さまざまな公園があると思います。これらの全ての公園面積を熊谷市の人口で割ると、一人当たりの公園面積は約23平方メートルになります。埼玉県内では、人口10万人以上の市では、一番公園が整備された都市となっています。

しかし、これらの公園内のプール・体育館・遊具及び大切な緑を適正に管理しないと、皆さんが安心して利用できなくなってしまいます。そこで、市では、大きな公園は市で、身近で小さな公園は、地元の人たちと一緒に公園や緑の管理をして、いつでも気持ちよく公園等を利用できるように努力しています。是非、皆さんも協力してくださるよう、お願いしたいと思います。

議席番号13番 中条中学校 ^{きただ} ^{あいり} 北田 愛理 議員 駅周辺等の緑化計画について（部長答弁）

北田愛理議員さんの「駅周辺等の緑化計画について」にお答えします。お話のありましたように、中条地区と熊谷駅周辺を比較すると、駅周辺の方が緑が少なくなっています。

それは、中条地区は「市街化調整区域」と言っても田畑等の農地を優先に整備している地区で多くの屋敷林等が残っていますが、駅周辺は「市街化区域」と言っても、市民の皆さんが持っている敷地を有効に活用し、高いビルのお店、事業所やマンションなどを建てさせる地区だからです。その為、どうしても駅周辺は、木を植える場所も限られ、地球にとって貴重な緑が少なくなっています。

しかし、緑は、地球の温暖化をおさえること、空気をきれいにすること、美しい景観を創ること、心を癒してくれることなど、私たちが生活していく上で、とても大切な働きをしてくれます。そのため、熊谷市では、緑を増やそうという計画に基づいて、木を植えています。特に、熊谷駅周辺等の緑の少ない地域は、ビルの壁面（壁）や屋上に積極的に緑化をしていきたいと考えているところです。今年は「市営本町駐車場」「中央公民館」「緑化センター」に壁面の緑化を実施しました。これからも、緑の多い、住みやすい街を創ってまいりますので、北田さんも、機会があれば、是非、植樹ボランティアに参加してください。

議席番号17番 別府中学校 ^{たの} ^{じゅんのすけ} 田野 準之助 議員 プールの排水溝改修工事について（部長答弁）

田野準之助議員さんの「プールの排水溝改修工事について」にお答えします。熊谷運動公園には、一年を通して利用ができる屋内プール（アクアピア）

と暑い夏の期間だけ利用できる、屋外プールがあります。どちらのプールも、他の市で事故があったような流れるプールと違いますので、排水溝に人が吸い込まれることは、無いと思っております。

しかし、熊谷市では、排水溝の安全対策として、屋内プールの排水溝は、ステンレス製の蓋を10本のネジでプール本体に固定するとともに、毎日、ネジの安全点検を行っています。また、屋外プールの排水溝は、大人が一人では動かないほど重い鉄製の格子蓋で、安全であると考えていましたが、田野さんの質問のとおり安全管理に一層の万全を図るため、今年の夏に、排水溝の蓋を動かなくする工事を実施しました。これからも、市民の皆さんがプールを快適に利用できるよう安全点検に努めますので、安心して利用ください。

議席番号29番 妻沼西中学校 ^{えもり}江守 ^{きよこ}小夜子 議員
妻沼体育館の改修について（部長答弁）

江守小夜子議員さんの「妻沼体育館の改修について」にお答えします。江守さんのお話のとおり、妻沼体育館は、ジュニアバレー大会やバトミントン大会等の多くのスポーツ大会が開催されたり、また、いろいろな催し物も開かれるなど、多くの皆さんに、利用され親しまれている体育館です。

しかしながら、昭和49年に建築したこの体育館は、人体に悪影響を及ぼすとされる、アスベストをアリーナ（競技する部分）と通路の天井に、使用していることが、昨年の10月に判明したため、直ちに使用を中止しました。そして、室内のアスベスト濃度の測定を行いました但問題は、ありませんでした。

しかし、将来の安全を確保して、体育館を再開するには、アスベストを、取り除く必要があるため、さらに、詳細な調査等を行い、今年の6月から、アスベストを取り除く、工事を始めました。

この工事は、順調に工事が進められ、計画よりやや早い11月末に完成し、12月1日から利用できる見込みになっています。長い間体育館を利用できず、ご迷惑をおかけしましたが、一日も早く、江守さんの妹さんを始め、多くの皆さんに安心して、各種大会等に楽しく利用して頂きたいと、考えています。もう少しお待ちください。

○ 質問番号 8 番 教育委員会関係（市長答弁）

松本麻里奈議員さん、長井謙吾議員さん、見内伸之議員さんの通学路や運動施設に関する質問に私から全般的にお答えし、詳しくは、教育長からお答えします。

皆さんは、学校が好きですか。楽しいですか。私は、市内の児童・生徒のみなさんが毎日、元気よく学校へ登校し、勉強に運動に一生懸命取り組んでほしいと願っています。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日もありますが、交通事故や痛ましい事件にあわないよう、安全に注意して登下校をしてほしいと思います。熊谷市としても安全・安心なまちづくりのため、道路の修繕・改修や防犯拠点の設置及び地域ぐるみで見守る運動等積極的に取り組んでいきたいと考えています。

また、本年7月には、スポーツ熱中都市宣言を行いました。スポーツは私たちの心身の健全な発達に役立つとともに、豊かに暮らせるまちづくりを推進していくうえでも、極めて大きな意義を持っています。市民一人ひとりがスポーツに熱中することを通して健康な心と体をはぐくみ、誰もが元気に生き生きと生活するまちづくりをめざしていきたいと思っています。私も、時々本市の屋内プールアクアピアで水泳を楽しんでいます。

中学生の皆さんは、心身ともに著しく成長する時期ですので、学校や市内の運動施設でスポーツに積極的に取り組み、スポーツの持つ良さを味わうとともにそのわざや体力の向上に努めてほしいと思っています。

議席番号 2 番 荒川中学校 ^{まつもと} 松本 ^{まりな} 麻里奈 議員 安全な通学路について（教育長答弁）

松本 麻里奈 議員さんの「安全な通学路について」にお答えします。みなさんが明るく、元気よく、安全に登下校することは、何よりも大切なことであると考えています。

そこで、熊谷市では、みなさんが安心して通学ができるように、街灯の設置、交差点の改良及び学校とPTAが協力して通学路の危険箇所を調査するなどのいろいろな対策をとっています。

しかしながら、松本さんのおっしゃるように街灯がないため暗くて見えにくい道路や歩道が狭くて歩行に支障をきたすような道路が数多くあるのも事実であり、通学路の安全対策をさらに推進しなければならないと思っています。

街灯については、学校を通して地元の自治会等に設置をお願いするなど今後も働きかけをしていきたいと思っています。また、狭い歩道を広げることは、用地の確保をはじめ土地所有者などの関係者の協力が必要であり、すぐにはできないことですが、埼玉県熊谷県土整備事務所や市の担当課などの関係機関と連携を取り、できる所から実施していきたいと考えています。

これからの熊谷のまちづくりとして、みなさんが安心して毎日通学できるような安全な通学路の確保に努めていきたいと考えています。

議席番号 16 番 吉岡中学校 ^{ながい} 長井 ^{けんご} 謙吾 議員 吉岡地区へのスポーツ広場の設置について（教育長答弁）

長井謙吾議員さんの「吉岡地区へのスポーツ広場の設置について」にお答えします。広い場所で思い切りスポーツを楽しみたいというのは、多くの中学生

の願いであると思います。今後、休耕田や空き地等で協力が得られれば、新しく広場をつくることも可能であると思われます。

現在は、荒川緑地や大麻生の運動公園、国体の会場であった熊谷スポーツ文化公園等の施設が市内にありますので、これらを積極的に利用してほしいと思います。

また、熊谷市は、今年7月に、「実践」「応援」「協力」を合い言葉にした「スポーツ熱中都市宣言」を行いました。スポーツの楽しみ方の一つとして、優れた競技を観て、「応援」することがあります。Jリーグやプロ野球の試合、各種競技の全国大会など トップレベルのスポーツが熊谷で開催されていますので、会場に足を運んで、「応援」するというかたちでも スポーツに親しんでほしいと思います。

議席番号22番 奈良中学校 見内 伸之 議員
校庭の芝生化について（教育次長答弁）

見内伸之議員さんの「校庭の芝生化について」お答えします。地球規模の環境問題が取り上げられている現在、学校施設についても環境に配慮した施設づくりが求められています。

学校の土の校庭を芝生化することは、芝のもつ弾力性が子どもをけがから守り、芝の上でサッカーやラグビー、器械運動等思いきり体を動かすことができます。また、砂ぼこりや夏の日差しの照り返しを防ぎ、学校緑化にもつながるよさがあります。

しかし、芝生化にあたっての大きな課題として、維持管理の問題があります。たとえば、東京都のある小学校での校庭の全面芝生化に伴う整備費用は、3千万円を超えています。また、芝生を根付かせるためには2～3ヶ月の養生期間が必要であると言われており、その間、校庭の使用が制限されるという問題もあります。根付いた後も、毎週1回程度の芝の刈り込み、除草等かなりの手間が必要で、維持管理の負担が大きくなります。そして、芝が薄くなるとデコボコができ、転倒して捻挫等のけがも発生しやすくなる心配があります。

総合的に考えると、土の校庭は1年を通して使用が可能であり、ラインが引きやすく、多くの種目の体育授業を実施することが可能です。見内さんの言うとおり、芝生のよさも理解していますが、校庭の整備のしやすさ等を考え、土の校庭の方が有効活用できると考えています。

○ 質問番号 9 番 教育委員会関係（市長答弁）

高橋充議員さん、森山雄貴議員さん、津久井亮乃議員さんの社会教育に関する質問に私から全般的にお答えし、詳しくは、教育長からお答えします。

ムサシトミヨは、冷たく澄んだ水に棲むトゲウオ科の魚で、世界でも熊谷市内にしか棲んでいない埼玉県のサカナとして知られています。熊谷市では、このムサシトミヨを守るため、ムサシトミヨ保護センターをはじめ、様々な場所で、保護増殖活動に取り組んでいます。

熊谷市の社会教育施設としては、図書館、公民館、熊谷文化創造館（さくらめいと）などがあり、文化・教養の活動の場として、多くの市民に利用されています。しかし、熊谷市の西部地区には、現在のところ図書館がありません。図書館を建設する計画はありますが、財政的理由などから、今すぐにとすることは困難です。そこで、現在、学校図書館の図書資料や、読書環境の充実に務めています。今後も、計画を立てながら社会教育施設を整備し、皆さんが、利用しやすい施設となるよう努力していきたいと思いをします。

議席番号 6 番 大原中学校 ^{たかはし} ^{みつる} 高橋 充 議員

ムサシトミヨ公園の建設について（教育長答弁）

高橋充議員さんの「ムサシトミヨ公園の建設について」にお答えします。高橋さんもお存知のとおり、ムサシトミヨは、世界で熊谷市の元荒川の上流だけに住む貴重な魚です。熊谷市では、県や地元の保護団体といっしょに、元荒川の草刈や清掃などの環境整備をはじめ、ムサシトミヨの保護について、いろいろな取り組みをしています。

現在、久下地区にあります熊谷市ムサシトミヨ保護センターでは、数を増やすための人口飼育や、観察しやすいように水槽での展示などを行っています。また、ムサシトミヨを身近に感じられるように、観察学習会や水に親しむイベントなどを開催しています。

さて、質問の「ムサシトミヨ公園の建設について」ですが、ムサシトミヨ保護センターの施設内に、ビオトープをつくる計画があります。このビオトープは、昔の元荒川の自然を復元し、ムサシトミヨをはじめホタルなど、もともとこの周辺にいた生き物や植物を育て、目に触れられるようにします。また、このビオトープは、市民の参加による市民の手づくりのものを考えています。将来、このビオトープが、市民の皆さんにとって、ムサシトミヨをより身近な存在に感じることができる施設になるものと思いをします。

議席番号 20 番 三尻中学校 ^{もりやま} ^{ゆうき} 森山 雄貴 議員

三尻地区への図書館の設置について（教育長答弁）

森山雄貴議員さんの「三尻地区への図書館設置について」にお答えします。市立図書館は、皆さんが多くの本と出会える場として、豊富な資料を用意し、皆さんの本選びや読書相談などのお手伝いを行っています。熊谷市には、熊谷図書館・大里図書館・妻沼図書館の3つの図書館があります。また、移動図書館が、図書館から離れた地域の21のステーションを巡回しています。

森山さんがすんでいる三尻地区は、熊谷市の西部地区に位置しますが、西部地区には図書館が近くに無いため、大勢の皆さんが施設の整備を望んでいることは承知しています。しかしながら、新しい図書館の設置は、現在のところ、

財政的に困難な状況があります。

そこで今、良い本との出会いの機会をつくるための事業として、学校図書館の図書資料や環境の整備充実に努めています。読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、生きる力を身につけていく上で、欠くことができないものです。これから、皆さんがあらゆる機会に、自主的な読書活動を行うことができるよう、学校、市立図書館、そして、地域などが連携協力して、読書環境の整備に取り組んでいきたいと思ひます。

議席番号27番 妻沼東中学校 津久井 亮乃 議員
学級文庫の充実について（教育次長答弁）

津久井 亮乃議員さんの「学級文庫の充実について」にお答えします。熊谷市内の小・中学校には、学級文庫として各教室に図書コーナーを設置しています。最も身近なミニ図書館であり、多くの児童生徒の皆さんが利用しています。ご質問の学級文庫の図書購入についての費用は、各学校によって違います。十分に本が整っていない学級文庫もあります。

そこで、不足している本については、市立図書館の団体貸出の活用や家庭で不用となった本を持ち寄っていただくなどの工夫も必要となります。これからも、皆さんの多様な興味や関心に応えられるよう、学校・市立図書館、そして、地域・家庭が連携し、図書の整備・充実に、さらに努めていきたいと考えています。

○ 質問番号 10 番 教育委員会関係（市長答弁）

山崎真吾議員さん、太田紫乃議員さん、野口綾香議員さんの学校施設に関する質問に私から全般的にお答えし、詳しくは、教育長からお答えします。

学校施設については、安心・安全・快適な学習環境づくりをめざし、施設の充実と適正な管理・活用が図れるよう努めています。最近、実施しました、学校施設に関する事業をあげてみますと、安心・安全の面では、すべての小中学校に防犯メールを導入し、危険情報の早期把握・情報の共有化を図り、安全態勢の整備に努めました。また、防犯ブザーを全ての小中学校の児童・生徒に配布するなどして、犯罪発生の抑止や危険防止に努めています。さらには、快適な学習環境づくりの面では、アスベストの除去工事や耐震工事などを行う一方、すべての小中学校に壁掛け式扇風機を設置しました。

ところで、全国のほとんどの自治体は、今、財政が非常に厳しい状況にあります。熊谷市は、小学校 28 校、中学校 16 校、合計 44 校あり、限られた収入の中で必要なものを選択しながら支出をし、しかも、将来の財政状況も考えて計画的に実施していこうと考えています。特に、新たな施設の建設は、大きな借金も必要ですし、完成した後の維持管理費も多くかかることから、現在のところ、慎重にならざるを得ない状況です。

いずれにしても、多種多様な行政需要をそのままにしておくことはできません。私としては、各小中学校の施設の状況を市内全体の水準で捉え、その緊急性、必要性などを考えながら、計画的に施設の建設、改修、補修等に取り組んでいきたいと考えています。

議席番号 12 番 大麻生中学校 ^{やまさき}山崎 ^{しんご}真吾 議員 学校体育館の再建について（教育長）

山崎真吾議員さんの「学校体育館の再建について」にお答えします。旧熊谷市の中学校につきましても、老朽化していた体育館の建替えを進めてきましたが、大原中学校の体育館の建替えをして以来、市の財政状況が厳しく、また国体の誘致もあって、事業が進んでいない状況です。その間にも、体育館の老朽化は進行しており、皆さんにはご迷惑をおかけしていることと思います。中学校は、部活動等で体育館を使用する機会が多いので、なるべく早く建替えをしていきたいと思っておりますが、来年度には奈良中学校の体育館の建替えを実施する予定で、現在準備を進めています。これからは、他の中学校につきましても、計画的に建替えを進めていきたいと考えています。

議席番号 15 番 吉岡中学校 ^{おおた}太田 ^{しの}紫乃 議員 教室に入る悪臭対策について（教育次長答弁）

太田紫乃議員さんの「教室に入る悪臭対策について」にお答えします。吉岡中学校の近くにある養鶏場の臭いについては、学校からも報告を受けていますが、根本的な解決策はなかなか見つかりません。

太田さんの質問の 1 点目の「臭い対策としてエアコンを設置すること」については、設置費用や電気代などの維持費がたくさんかかることから、すぐにはできない状況です。そこで、少しでも暑さを和らげるために、昨年度と今年度の 2 ヶ年で市内の全部の小中学校の普通教室へ壁掛け式の扇風機を設置しました。

2点目の空気清浄機ですが、臭い対策としてどの程度の効果があるか調査・研究してみたいと思います。

議席番号18番 別府中学校 ^{のぐち}野口 ^{あやか}綾香 議員

学校の防犯対策について（教育次長答弁）

野口綾香議員さんの「学校の防犯対策について」にお答えします。最近、児童・生徒が被害に遭う事件が多発していることから、学校での防犯対策は重要な課題です。

これまで、熊谷市では、緊急時の対策として、各学校に防犯ベルを設置したり、「さすまた」を備えるなどの対策を行ってきました。また、不審者の侵入を防ぐため、常に校門は閉めておくように学校へ指示しています。夜間の防犯対策につきましては、警備会社と契約して、警備機器を設置していますが、野口さんの提案していただいた防犯カメラは、効果を発揮するためにはいつもカメラを監視する人が必要ですが、そのために人を置くことは難しい状況です。

そこで、熊谷市では、PTAや地域の皆さんにも協力をお願いして、大勢の目で不審者の監視を行うとともに、各小中学校に配置した防犯メールも活用して安全対策を図っています。

○ 質問番号 11 番 教育委員会関係（市長答弁）

石川奈菜議員さん、岡田舞子議員さん、江原雅之議員さんの、学校教育関係の質問に、私から全般的にお答えし、詳しくは、教育長からお答えします。

皆さんからの質問は、自分自身の将来や、熊谷市の将来をも視野に入れた質問であり、市長として大変心強く感じた次第です。

職業学習については、自分の将来を考える上で、とても重要なことだと思います。市内の中学校では、5日間の職場体験学習に取り組んでいますが、この取組を皆さんの手で、一層充実させてほしいと思います。

英語教育については、熊谷市では、小・中学校全校にAETを配置するなど、独自に、英語教育の充実に努めています。このような環境を生かし、英語の力をしっかりと身につけてください。

児童生徒の減少については、大きな課題ではありますが、きめ細かな教育が進められるなど、その特色を活かした教育が行われていると聞いています。今後、地域の皆さんとともに考えていく問題だととらえています。

これら、皆さんの熱意に答えて、私も、熊谷市の教育を充実させるため、しっかりと取り組んでいきますので、皆さんも、大いに、勉強に、運動に、がんばってください。

議席番号 21 番 奈良中学校 ^{いしかわ} ^{なな} 石川 奈菜 議員 職業学習について（教育長答弁）

石川奈菜議員さんの「職業学習について」にお答えします。熊谷市では、平成12年度から、中学校において職場体験学習を行っています。

すべての生徒が自分の好きな職場で体験することは難しいことですが、この取組を通して、石川さんの質問にあるように、働くことの厳しさや喜び、職場での人間関係の在り方、マナーなどを学ぶことはとても意義のあることだと考えています。

石川さんの指摘のとおり、職業に関する資料が豊富であれば、様々な仕事についての知識が得られると思います。そこで、学校の図書室などの職業に関する図書を充実していくようにしたいと思います。併せて、生徒のみならず自身の努力によって、様々なメディアを通して、職業に関する情報を積極的に収集して欲しいと思います。

議席番号 24 番 大幡中学校 ^{おかだ} ^{まいこ} 岡田 舞子 議員 英語教育特区校について（教育長答弁）

岡田舞子議員さんの「英語教育特区校について」にお答えします。岡田さんの指摘のとおり、英語教育特区校の取組は、広くマスコミで報道され、多くの人々の関心を集めました。ほとんどの授業を英語で行うことにより、英語力の向上を図ることが主な目的のようです。

これは、児童生徒にとって、特別な教育方法の一つであり、すべての児童生徒が受けなくてはならないものだと私は考えていません。中学校3年間の英語の学習で、十分だと考えています。現在、市内の小学校でも、AETを配置するなどして、国際理解教育の一環として、「英語活動」を行っていますが、これは、英語を通して異なる文化を理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てようとするのが中心です。小学校の時には、自

国語である日本語をしっかりと学習し、きちんと自分の言葉で、自分の考えを話せるようにすることが先ず、大切であると、私は考えています。その基礎・基本の上に国際感覚を磨き、外国語を習得していくことが、国際人になっていく近道と考えているからです。したがって、熊谷市においては、現在のところ、特に英語教育特区校のような学校が必要であるとは考えていません。

議席番号32番 小島中学校 江原 雅之 議員

小島小中学校の児童生徒の減少について（教育次長答弁）

江原雅之議員さんの「小島小中学校の児童生徒の減少について」にお答えします。小島小中学校は、県下で唯一つの小中併設の小規模校という特徴を持っています。小島小中学校ではこの特徴を活かし、9年間を見通した特色ある教育活動に取り組んでいます。こうした学校の取組は、教育誌等でも紹介されているところです。少人数ながら活躍しているテニス部の皆さんも立派だと思えます。

さて、江原さんが質問された小島地区の児童生徒数の減少は、今後の小島小中学校のあり方を考えていく上で、大きな課題であると考えています。「テニスをやりたい生徒は、他の地区からでも小島中学校に入学できるようにする」ということは、まず希望者がいることが第一条件ですが、現実問題として難しいのではないかと思います。

小島小・中学校の児童生徒数減少に係わる課題は、今後地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。